

# 養父市長に梅谷馨氏



職員らに迎えられ市役所に初登庁する梅谷馨新市長（1月31日）

佐々木憲二市長の死去に伴う養父市長選挙が1月23日に告示され、同月30日に投票が行われました。  
即日開票の結果、梅谷馨氏（73歳、畑）が激しい選挙戦を制し初当選しました。

## 市長就任のいきさつ



養父市長 梅谷 馨

私は、昨年4月の養父市発足時に養父市長職務執行者を50日あまり務めさせていた。その後、養父市の基礎づくりを進めていただくため佐々木憲二前市長に市政のバトンを渡しました。それからは、佐々木市長の市政を支えていこうと思っていました。佐々木市長は約7カ月間で志

し半ばにして急逝されました。皆様と同様に、私自身も非常に寂しく残念な限りです。  
佐々木市長が亡くなられた後、多くの皆様の温かいご支援をいただき、養父市長選挙に立候補し当選させていただきました。心から感謝を申し上げますとともに、全力をふりしぼって新生養父市の基礎をつくり上げていきたいと思っています。  
現在、養父市には多くの課題が山積しています。第一に考えなければならぬのが「安全で安心して暮らせる地域づくり」です。とりわけ台風23号災害からの復旧と復興が急務です。現在、ようやく